

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和5年 4月18日 (火)

2 調査対象 第6学年児童68名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査 (国語、算数)

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 児童質問紙調査 (学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を下回りました。
算数は、全国平均を下回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 国語・算数・英語が好きである。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

課題が見られた項目

- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では思考力に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 必要感のある問題との出会い方、「わかる・できる」が実感できるような授業展開を工夫する。
- ・ 児童が主体的に考え、書いてまとめる場を多く設定する。

6 保護者の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いします。

- 家庭学習について
 - ・ 家庭学習時間の確保、家庭学習カードのチェック
- ICTの学習への活用
 - ・ 家庭への持ち帰りも含めて、ドリルとして、思考ツールとして活用
- 地域行事等への参加
 - ・ 多くの人とのふれあい